

生活支援団体による 移動支援の取り組み



大阪出身(那賀町移住 7年目)
福祉職 16年目(SC 6年目)
THE やや若者・バカ者・よそ者



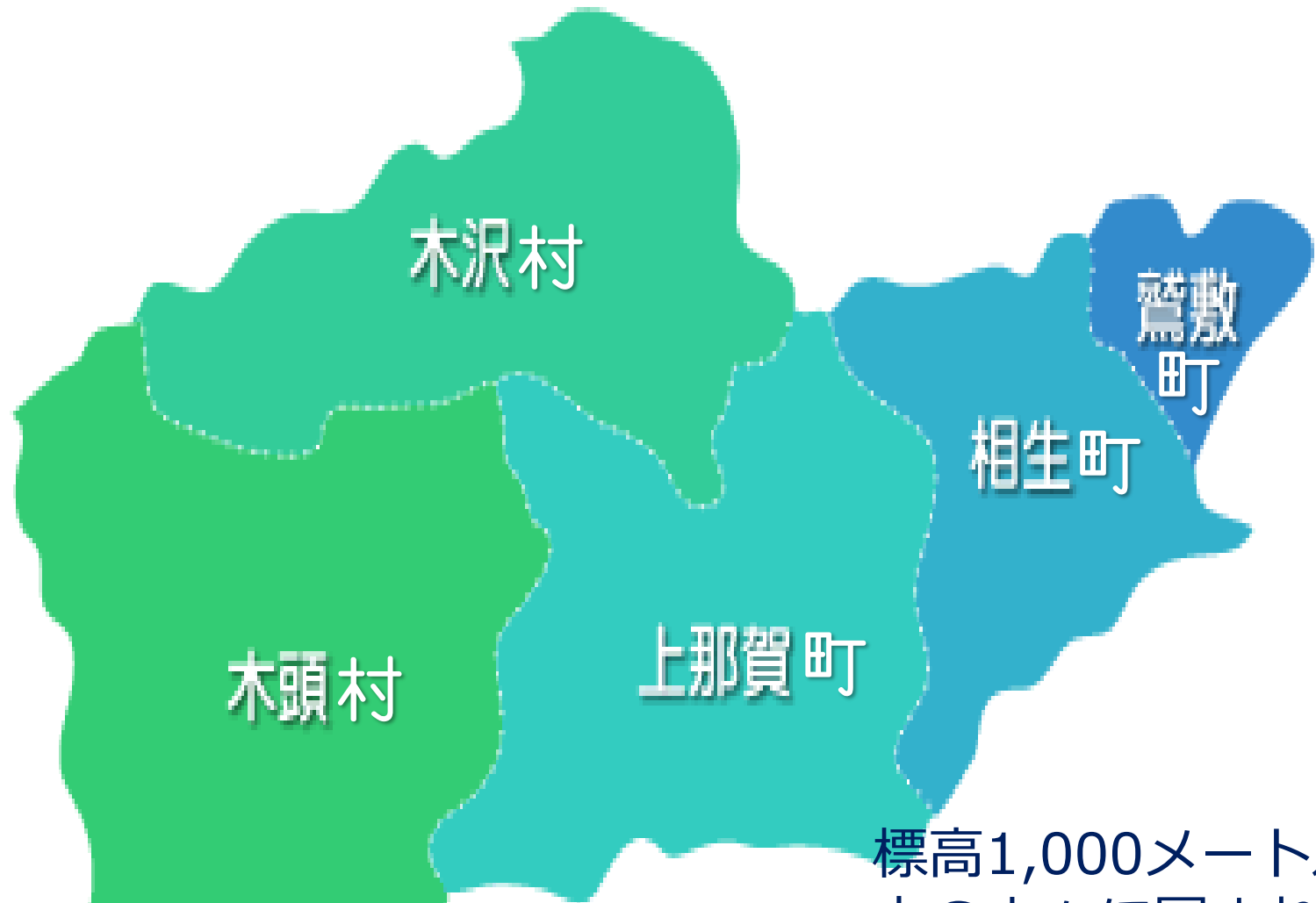
鷺敷西部地区出身
行政OB / 地域団体 3年目

那賀町社会福祉協議会 第1層生活支援コーディネーター 亀井 伸幸
生活支援団体「鷺敷西部おたすけ隊」代表 青木 紀男

徳島県 24市町村（8市15町1村）



平成17年に5つの町村が合併し那賀町が誕生



平地に乏しく集落は点在しており、
川沿いの狭い段丘が多い。

標高1,000メートル以
上の山々に囲まれ、
95%が森林、居住面
積5%の中山間地域

那賀町の概要 (令和4年5月末現在)

人口：7 5 7 4 人

65歳以上

3900人 51.49%

うち75歳以上

2303人 30.40%

要支援要介護認定者

883人 11.65%

18歳以下

772人 10.19%

地区	男	女	計	65歳以上人口	高齢化率
鷺敷	1, 282	1, 367	2, 649	1, 089	41. 11
(前年同月)	1, 295	1, 397	2, 692	1, 125	41. 79
相生	1, 074	1, 170	2, 244	1, 109	49. 42
(前年同月)	1, 109	1, 212	2, 321	1, 122	48. 34
上那賀	559	660	1, 219	797	65. 38
(前年同月)	579	680	1, 259	821	65. 21
木沢	216	227	443	300	67. 72
(前年同月)	227	241	468	316	67. 52
木頭	487	532	1, 019	605	59. 37
(前年同月)	518	547	1, 065	630	59. 15
合計	3, 618	3, 956	7, 574	3, 900	51. 49
(前年同月)	3, 728	4, 077	7, 805	4, 014	51. 43

平成31年度の年間免許返納者数は68件前後を確認

●把握している移動ニーズの実態

- ・タクシー会社5社（鷺敷1・相生2・上那賀1・木頭1）
- ・那賀町のタクシー券助成事業がある
- ・徳島バス（南部バス）路線あり。木沢地区や国道以外（那賀川の支流にある集落には路線がないまたはデマンド運行の集落が存在する。）
- ・福祉タクシー2社（うち1社は協議体メンバーが創出）
- ・交通空白地有償輸送「木沢ボランティアタクシー」1団体（事務局社協）
- ・上記公共交通を利用している人は、町内の医療機関や町外の病院と買い物の利用。つどいの場や町内の買い物のみでの利用実態は少なく、家族支援や隣近所の助けあいで移動がメイン。
- ・つどいの場に公共交通や福祉タクシーを利用している話は聞かない。タクシーの台数が少ないこと、移動圏域が広いため、タクシーを利用したくても利用できないとの話も多く聞かれ、予約の争奪戦になることもある。
- ・隣近所の知人などに1～2万円謝礼として支払って通院しているケースも聞かれる。年金生活の高齢者にとって経済的負担となっている。
- ・買い物ができるスーパーや商店が少なく、自宅から遠い住民がほとんどなので、多くの移動弱者が存在している。平成31年度の年間免許返納者数は68件前後を確認。
- ・今後住民が安心して在宅生活を続けるためには家族支援や公共交通だけに頼らない地域の移送支援のしくみの創出が必要

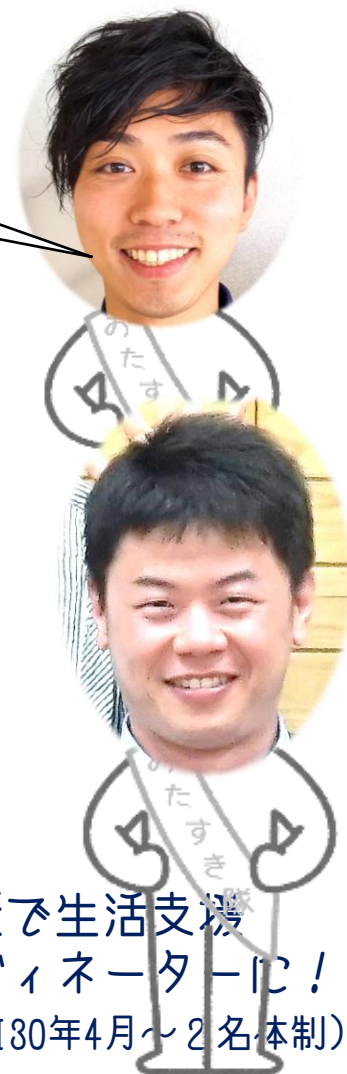
⇒生活支援体制整備事業戦略会議
(H29年1月～)

徳島大学

徳島県

⇒亀井が新任で生活支援コーディネーターに！
(H29年4月～)

わたしが生活支援コーディネーターです！
宜しくお願いします！



⇒社協宮崎が兼任で生活支援
コーディネーターに！
(H30年4月～2名体制)

協議体 3 つのテーマ決定！

「那賀町元気な地域づくりネットワーク会」は
町全域の 3 つ共通課題を住民主体で考え、支えあいの輪を広げます！

1.居場所・つどいの場の拡充支援

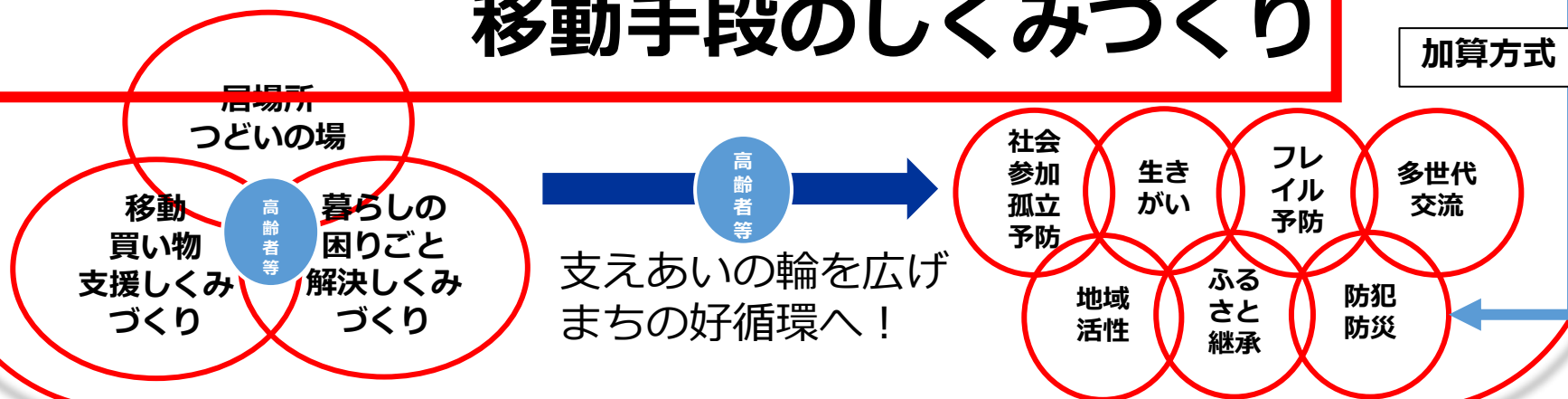
加算方式

2.暮らしのちょっとした困りごと 解決のしくみづくり

3.買い物支援や地域の 移動手段のしくみづくり

家事支援一体型の
車両を使用した生活支援

加算方式



なんやかんや
1年かけて

これからは



大切にしている伝え方

生活支援体制整備事業/SC/協議体とは

生活支援体制整備事業

「いつまでも ふるさとで すこやかに」を合言葉に、現代の制度も活用しながら、古き良きお互い様精神や助けあい文化の復興と捉え、自分たちの地域は自分たちで良くしようという住民主体の地域づくり活動。

生活支援コーディネーター

住民、行政、民間など他団体、多職種と連携を図り、地域にちりばめられた、地域づくりのパーツをつないで「支えあいのしくみ」の構築を目指す、つなぐ専門職です。「お節介」と「安請け合い」で元気な地域づくりをめっちゃくちゃ応援します。

協議体「那賀町元気な地域づくりネットワーク」

地域の「困ったなあ」のつぶやきを拾いあげ、各生活支援コーディネーターと共に生活支援のしくみ構築して住民の活躍推進や元気な地域づくり一緒に考えるチーム。また、同じ立場の住民へ「輝きのバトン」を繋いだり、「支えあいの輪」を広げる同志の集まり。

H29年度 地域課題

生活支援体制整備事業戦略会議→支えあいフォーラム→勉強会→協議体準備会

いきいき100歳体操 11会場

生活支援のしくみ化

買い物支援

移動支援

つどいの場

立上支援

H30年度

1層協議体「ご近助おたすき隊」結成（取り組み4テーマ決定・ナカまつり参戦<PR・絆づくり>）
旧5カ町村にて2層住民協議体（地域間の話しあいの場）を推進
1層移動、買い物に関する施策検討・2～3層地域に応じて4テーマの活動を創出
※R1年度「元気な地域づくりネットワーク連絡会」に名称変更

いき100歳体操 21会場

サロン/いき100会場座談会

相生延野多世代交流拠点整備

全国移送ネット互助移送研修会（協議体）

ご近助サポーター及び
生活支援の担い手養成研修

古屋谷買い物ツアー

古屋谷移動販売（いき100・商店・商工会・社協）

いき100歳体操 45会場

日常生活総合事業訪問B型『ご近助サポーター事業』開始

介護福祉タクシーこだまサービス開始

いき100会場にて
フレイルチェック導入
フレイルサポーター1期生 29名
※令和5年度末までに150名の養成目標

『木沢おたすき隊』設立（木沢全域対象の生活支援有償ボラ）

『木沢ボランティアタクシー』行先緩和

連

第1層（全域）協議体のメインテーマを移動買い物に設定

福祉有償運送大臣認定講習
インストラクター講習受講

相生延野多世代交流拠点閉鎖

いき100歳体操 50会場

地方創生交付金事業
フレイル予防推進
サポーター養成研修

案内/連携

連携

R2年度

木頭北川買い物ツアー

全国移送ネット互助移送オンライン勉強会（協議体）

大阪太子町『訪問D型サービス』オンライン研修会

木頭北川多世代交流拠点整備

阿南市『通所B型サービス』研修会

『鷺敷西部サポート結』設立（西部地区対象の生活支援互助組織・マイカー移送）

いき100歳体操 51会場

『鷺敷西部及び延野コミュニティ推進協議会』地域活動部会創設（生活支援互助組織・登録許可不要の移送を伴う生活支援一体系サービス実施計画）

日常生活総合事業『通所B型サービス』
地域の茶の間（ご近助デイ）
モデル実施（案）

見守り型配食事業の推進

移動販売拡充（いき100・商店・商工会・社協等）

全国移送ネット互助移送勉強会（行政・一般）

福祉有償運送大臣認定講習開講 支援団体25名養成

各地区生活支援団体設立目標 10団体（小地区の生活支援互助組織・有償ボラ）

日常生活総合事業『訪問B・D一体系サービス活動団体補助事業』提言 ⇒ 令和4年度創設

団体補助・加算で後押し

R3年度
・那賀町地域福祉活動計画策定
（旧町村単位で策定検討会設置）

R4年～8年度（5か年計画）
・那賀町地域福祉計画策定（行政）
・那賀町地域福祉活動計画策定（住民）

計画運動

八王子式：許可登録不要の家事支援一体系の
移送支援のしくみを町内全域へ拡大

サロン支援目標 60会場

R3年度 ～R8年度

効果/目的

住民活躍推進・いきがづくり・お互い様助けあい精神の復興・世代/地域間交流・多種多様な連携
人間関係やコミュニティの維持・移動買い物の選択肢の充実・介護予防・介護保険料の抑制・防災

まちの理想像

『いつまでもふるさとですこやかに暮らせる優しい福祉と健康長寿のまち』

普通のくらしの困りごと20項目の回答ランキング

3 択（困っている・近い将来困りそう・困っていない、困らない）



山林田畑などの環境維持（山林間伐・草刈りなど）	76%
屋外の掃除、片づけ、簡単な補修	65%
移動に関すること （例：買い物・通院薬局・会や集まり・銀行・墓参りなど）	65%
布団干し	64%
地域の会や出役の代行	63%
公共機関での手続きや必要な書類などの確認	61%
買い物に関すること （例：付添い・購入依頼・自宅までの運搬など）	60%
庭の手入れ（花木の水やり、草抜き、刈こみなど）	59%
自宅内の窓ふき、掃除、片づけ、簡単な補修	58%
電球（灯）やクーラーのフィルターなど高所交換	56%

日々の見守りや安否確認（一人で過ごす不安や心配）、 病気の時の看病など	56%
食事に関すること （例：食材購入・下ごしらえ・調理・片づけなど）	56%
話し相手	54%
お墓の掃除	54%
電気機器などの操作方法の確認や相談	54%
ゴミ出しに関すること（例：分別・捨て場への運搬など）	54%
雨戸の開け閉め	51%
近所の人と交流できる機会やつどいの場所がない または行けない	48%
サークル活動や趣味、好きなことなどの集まりがない または行けない	40%
預貯金や所有資産などの管理	38%

ふだんの暮らしの ちょっとした困りごとアンケート 内容（一部抜粋）

ふだんの暮らしのちょっとした困りごとについて住民同士の
助け合いのしくみが必要だと思いますか？

選択項目	人数	構成比
思う	53	66.3%
やや思う	13	16.3%
あまり思わない	2	2.5%
思わない	3	3.8%
わからない	3	3.8%
無回答	6	7.5%
合計	80	100.0%

助け合いのしくみが必要 **82.6%**

助け合いの担い手になっても良い **63.8%**

地域助け合い型の送迎サービスが必要 **47.6%**

ふだんの暮らしのちょっとした困りごとについて、自分が無理なくできる範囲で助け合いの担い手になっても良いと思いますか？

選択項目	人数	構成比
思う	33	41.3%
やや思う	18	22.5%
あまり思わない	5	6.3%
思わない	2	2.5%
わからない	13	16.3%
無回答	9	11.3%
合計	80	100.0%

ガソリン代などの実費程度の費用負担で、買い物・通院・各種会合や集まり・銀行・墓参りなど日常的な移動について、地域助け合い型の送迎サービスがあれば利用したいですか？

選択項目	人数	構成比
思う	25	31.3%
やや思う	13	16.3%
あまり思わない	9	11.3%
思わない	10	12.5%
わからない	14	17.5%
無回答	9	11.3%
合計	80	100.0%

小中学生と高齢者宅を訪問調査

(2018年夏～毎年地区を変え、今年で5年経過した活動)





支えあいのまちづくり

互いに・近くで・助けあう



ご近助サポーター 活動

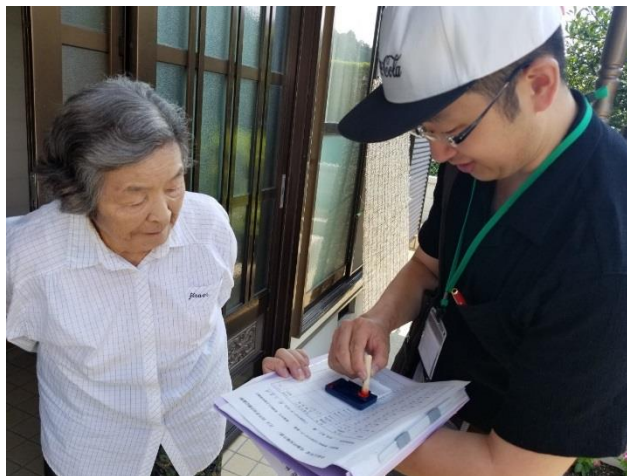
那賀町主体 / 社協委託 / 住民登録者 40名



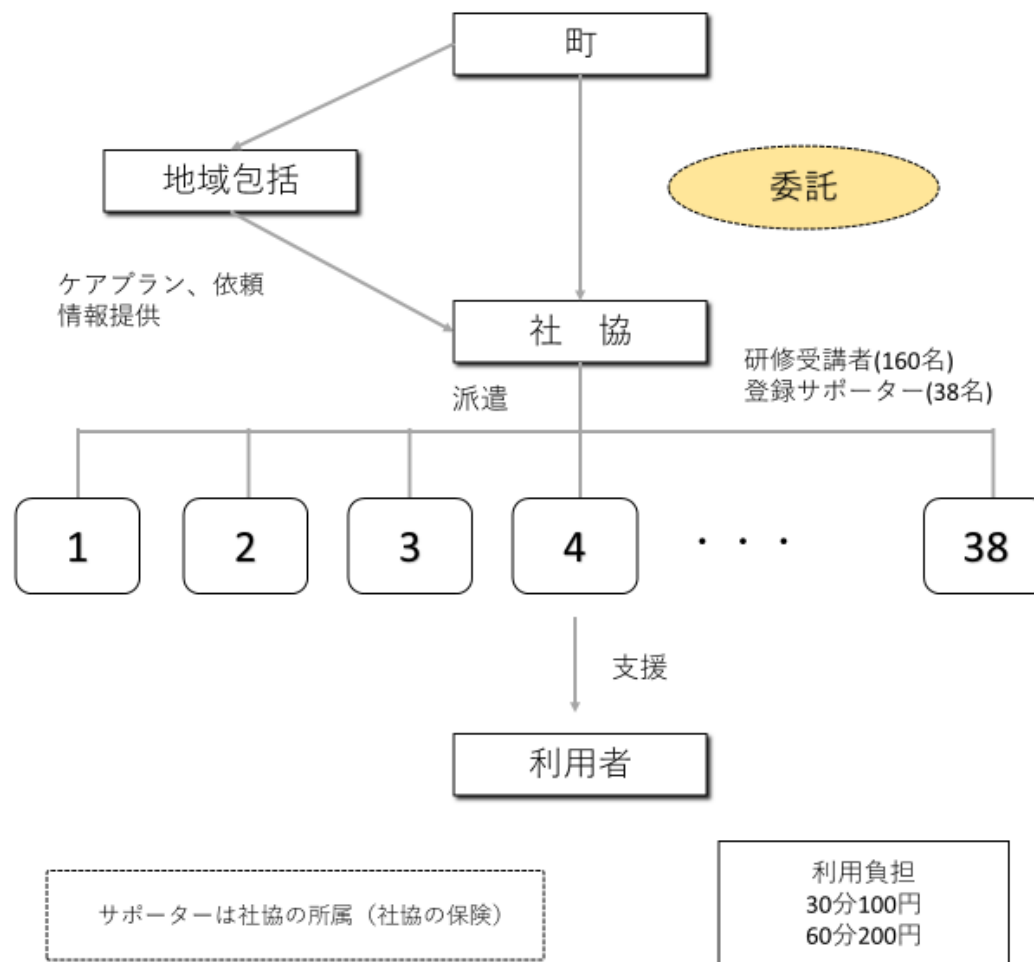
60分200円サービス
例 ★家事支援
(一緒に行う掃除)



30分100円サービス
例 ★ゴミだし支援



2019年時点の訪問型サービスB ご近助サポーター事業



★利用できる方

那賀町内在住の65歳以上の方で構成される世帯で基本チェックリストで対象と認められた方。

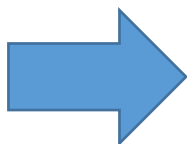
サービスの利用は、地域包括職員が訪問・聞き取りのうえ利用の必要性を確認します。

★利用できるサービス

- ①掃除 ②ゴミ出し ③洗濯 ④ベッドメイク ⑤衣類の整理 ⑥衣服の補修 ⑦調理
⑧電球交換 ⑨布団干し ⑩窓ふき ⑪買い物 ⑫葉の受け取り ⑬精米

★利用者負担金 30分未満 100円 30分以上60分未満 200円

木沢住民の声でつくられた
より身近な問題に迅速に
対処するためのしくみ
有償ボランティアが木沢住民の
困りごとをお手伝い！
「困ったときはお互いさま」
一緒に作業することで
地域のつながりづくりにも。



平成26年4月～
木沢地区で実施

那賀町公共交通空白地有償運送事業

ボランティアタクシー

受付（会員登録・利用予約）

那賀町社協木沢支所 ☎ 65-2128
☎ 050-8800-4004
受付時間 … 平日 午前8時30分～午後5時00分 まで

那賀町公共交通空白地有償運送事業実施主体／那賀町社会福祉協議会



那賀町社会福祉協議会
四徳過第3号

令和3年度実績
実ドライバー 2名
実利用者 28名
延べ利用回数 398回



農作業おたすけ



おたすけ会員による
閉校した小学校の清掃



社協と連携した独居高齢者の見守り配食事業

ちょっと困りごとは

7ヵ月の活動期間が終了です

対象者
 本沢地区にお住いの方で
 サポートが必要の方

本沢おたすけ隊にお任せ!!

本沢で暮らす皆さんの、
ちょっとした困りごとなを
本沢おたすけ隊の会員が
お手伝いします。

面談を見てくれる
家族が近くにいるし。

突然の体調不良で
掃除や家事ができない



高齢者の
一人住まいは不便で。

園作業や維持管理を
手伝ってほしい。

**おたすけ隊員
募集中心!!**
(ボランティア経験者優先)
登録者 33人

1,000円メニュー

本沢地区 15名 登録者

- 例えば、
- ・ごみ出し
- ・水やり（15分）
- ・蛍光管、電球交換
- ・その他15分程度の作業

500円メニュー

本沢地区 30名 登録者

- 例えば、
- ・買い物代行
- ・病院等への付添い
- ・布団干し、掃除等
- ・その他30分程度の作業

1,000円メニュー

本沢地区 15名 登録者

- 例えば、
- ・草抜き、農作業の手伝い
- ・壁掃除、壁参りの代行
- ・地域の出役代行
- ・その他60分程度の作業

おたすけ隊よりひとこと

当たり前に行っていることに感謝の気持ちを、「お互いさまだから」と無意識に行っていることが習慣になってしまいがち。お互いに変化を求めているところで、相違や不満が湧いてくるのは当然のこと。お互いを尊重して生きていくために、「相手に合わせていく」として口に出さなくてもお互いの困りごとの「ちょっとしたこと」でも「何事にも」姿勢が大切です。このくみかめが活動の中心として、皆様の本沢の誇りあふれる街づくりにしたいと思っています。本沢に誇りを感じてほしいし、みんなで誇りあっている誇りをいかに表現していきましょう。

**お問い合わせ
ご相談は**

つやあけ看護の
専任として
ご相談ください!

本沢のボランティアグループ

本沢おたすけ隊運営委員会

TEL 0884-65-2128 IP 050-8800-4004

事務局 那賀町社会福祉協議会(本沢支所内隣)

登録・参加費
一人1人1人
本沢のつやあけ
グループなどに
ご参加ください



お助け隊チラシ

住民による生活支援団体(相生地区)

令和3年4月発足

生活支援延野おたすけ隊 活動

生活支援ボランティア
の声でつくられた
生活支援組織
若い世代も参画し
多世代で地域の
つながりづくり!



30名

令和2年10月立ち上げ会

ちょっとした困りごとは
延野おたすけ隊にお任せ!!

対象者
延野地区にお住まいの方で
サポートが必要の方

延野地区で暮らしの
ちょっとしたお困りごとを
延野おたすけ隊の会員が
お手伝いします。

高齢者の
一人暮らしは不便で、
作業や維持管理を
手伝ってほしい!

おたすけ隊員
募集中!!
(性別・世代・性別・地域)
登録者21人!

突然の体調不良で
食事や家事ができない

1,000円メニュー 60分

例えば、
・早抜き、農作業の手伝い
・墓掃除、墓参り
・地域の出役代行など
・その他60分程度のサポート

おたすけ隊よりひとこと

延野地区コミュニティ推進協議会【地域活動部】
延野おたすけ隊実行委員会
おたすけ隊事務局・地区実行委員会
(事務局は延野地区の中心にあり、ご協力ください)



柚子収穫おたすけ

高齢者接種 ネット予約を「お助け」

高年齢の新型コロナウイルスワクチン接種のネット予約を、延野おたすけ隊がサポートしています。ネット予約は、高齢者の多くが利用できないため、おたすけ隊員がサポートしています。

スマホ使い数分で完了

スマホを使ってネット予約を手伝う隊員 (左) 一歩前町延野の橋本さん宅



粗大ごみ運搬



家屋水漏れ
対応



病院やつどい場への送迎



休耕田や庭の草刈りや草引き



お墓や石碑掃除

写真データの整理

お助け隊チラシ

ワクチン予約おたすけ

人と人のつながりの場づくりや栄養のとれた食事の配達、在宅生活の支援等の取り組みを通じて、少しでも生きやすい地域づくりに取り組んでいます。

車両を活用した生活支援を実施する予定の会員に対し、代表がインストラクターとして、座学及び実地講習を実施。

住民による生活支援団体

ボランティア会員 17名

生活支援チームあかいも 活動

つどいの場・配食・生活支援の
一体的活動

人と人のつながりの場づくりや栄養
のとれた食事の配達、在宅生活の支
援等の取り組みを通じて、少しでも
生きやすい地域づくりに取り組んで
います。



お墓掃除



通院や買い物への送迎支援



生活支援団体運営のサロン

「ワカイシしめ縄の編み方継承講座」

※チームあかいも運営サロンは7会場

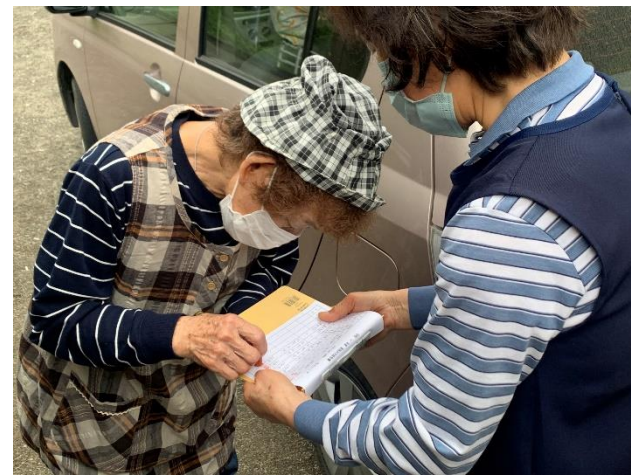
令和 年度 実施状況報告書
あかいも会 会員名 松本

日付	利用者氏名	支援内容	支援時間	利用料(備考等)	利用料金	会員印
3月26日(土)		送迎	11:30~11:50	200円		
3月26日(土)			11:30~11:50	200円		
3月26日(土)			11:30~11:50	200円		
4月6日(水)	見谷 折彦		10:20~10:30	100円		
4月6日(水)			10:40~10:50	100円		
4月6日(水)			10:40~10:50	50円		
4月6日(水)			10:40~10:50	50円		
5月26日(木)	見谷 JA		10:10~10:20	300円		
6月3日(金)	相谷 折彦		11:10~11:30	200円		
6月3日(金)			11:10~11:30	200円		

令和 年度 実施状況報告書
あかいも会 会員名 松本

日付	利用者氏名	支援内容	支援時間	利用料(備考等)	利用料金	会員印
6月17日(金)		送迎	14:20~15:20	600円		
6月21日(火)	相谷 折彦		8:45~9:15	550円		
6月21日(火)	相谷 折彦		9:15~12:15	200円		
6月21日(火)	相谷 折彦		9:17~9:37	600円		
6月29日(水)	相谷 折彦		13:35~15:35	1500円		
7月26日(火)	相谷 折彦		8:50~10:00	700円		
8月9日(火)	相谷 折彦		8:05~8:35	300円		
8月9日(火)	相谷 折彦		8:10~8:26	300円		
8月10日(水)	葉掃除		8:00~8:30	300円		

生活支援の記録簿



利用者確認サイン(押印)の様子

2021.3.5

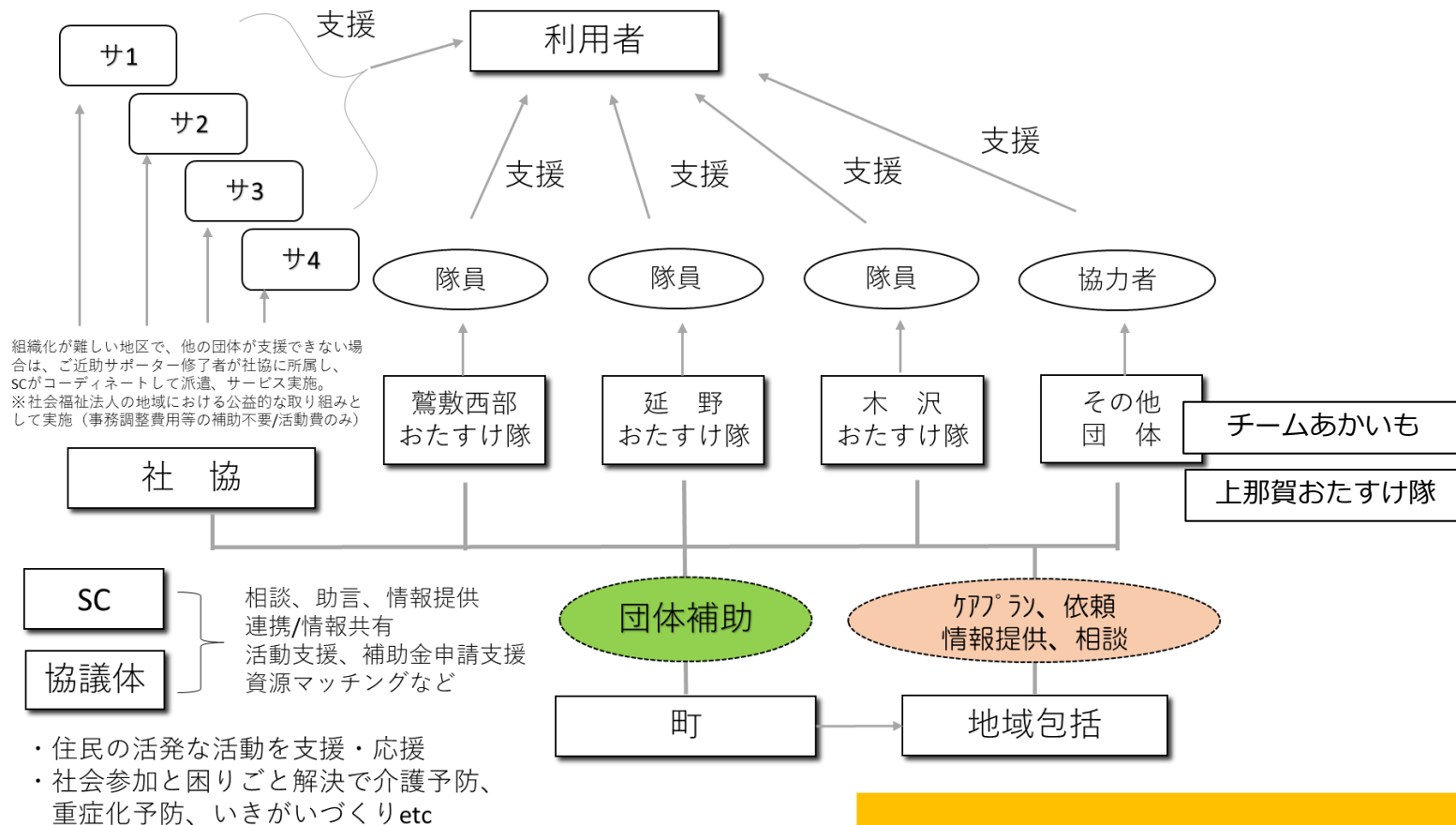
より良い総合事業訪問B事業の構築に向けた
オンライン勉強会（行政・社協）

アドバイザーにご助言をいただき、総合事業を活用した生活支援及び移動支援について学び、制度設計を検討しました。

東京八王子市の総合事業訪問Bをベースに那賀町アレンジで制度を構築することに決めた。

令和4年度4月施行(5/1補助団体決定通知交付)

訪問型B（家事援助一体型）生活支援団体補助事業



生活支援団体補助事業の主たる目的
利用者・担い手双方の
介護予防・社会参加！！

B型・D型は要支援者等個人に対するサービスの提供ではなく、
 団体に対して補助を行う事業

土協
イフ
ま
愛団体は
ービス補償（団体負担）

別表第1 補助対象経費及び補助金の上限額（第3条関係）（一部抜粋）

補助対象経費		補助額(単位)
基準額(定額)	利用者のサービス調整等コーディネートにかかる人件費、ボランティア奨励費及び事務費等（物品購入費、印刷費、交通費、通信費、会場使用料、研修講師等謝礼等、実施要綱第2条に定める目的のために行われる多様な生活支援に必要な経費）	10,000円/月
通いの場加算	実施要綱第3条第3項及び第7条に定める「通いの場」を生活支援と一体的に運営する場合の事務経費等に応じて加算。 補助期間の月数に相当する回以上実施する場合。	一か所につき 2,000円/月
地域課題 チャレンジ加算	上記通いの場の運営のほか、実施要綱第7条に定める多様な活動を行う場合の経費に応じて加算。 なお、詳細については町が別に定める。	2,000円/月
車両を利用した 生活支援実施加算	車両を活用した生活支援（買物・外出付き添い等）を実施する場合、次の経費に応じて加算。 （1）自動車の賃借料（個人所有車両を除く） （2）保険料（個人所有にかかる個人名義の保険料を除く） （3）安全対策にかかる備品購入費 （4）安全運転講習等にかかる費用等	8,000円/月
実績加算	要支援者等の利用や参加実績に対し、次に掲げる月実績に応じ、基準額に準じる経費を加算。 （1）実人数10名以上または延べ人数50名以上のいずれか達している場合（上限の1/3） （2）実人数20名以上または延べ人数100名以上のいずれか達している場合（上限の2/3） （3）実人数30名以上または延べ人数150名以上のいずれか達している場合（上限の3/3）	30,000円/月

生活支援団体5団体が運営する
高齢者の通いの場
（もともとは小地域独自の集まり
健康体操やゲートボールなど）

↓ 加算による補助

31か所が定期的なサロン実施へ
（おしゃべり会・食事会・多世代交流・各種
研修や講座、イベント実施）
交流楽しみの場や学びの場、活動が活発に

各地域の課題に対して
生活支援の支え手や支えられ手にのみならず、
開かれた活動として地域住民が参画し
課題解決に向けた取り組みを住民総活躍で行う
（子ども・若年世代・元気高齢者・要介護者等）

↓
介護予防・社会参加
地域への愛着
顔の見える関係づくり
地域課題意識の醸成
といった働きがある

●車両を活用した生活支援（日常生活上必要不可欠な外出）サービス

（１）本事業における移動支援の目的

外出を促進することで介護予防につなげることが本事業における移動支援の目的です。

＝福祉的な施策という意味

外出意欲を高め、外出しやすい環境をつくるためには、生活支援と一体的に実施すること、顔の見える関係で相談できることなどが重要です。既存のタクシーによって実施することは難しいと思われます。

（２）タクシーの利用者が生活支援に流れることについて

タクシーの利用者が生活支援を利用するようになることも予想されます。

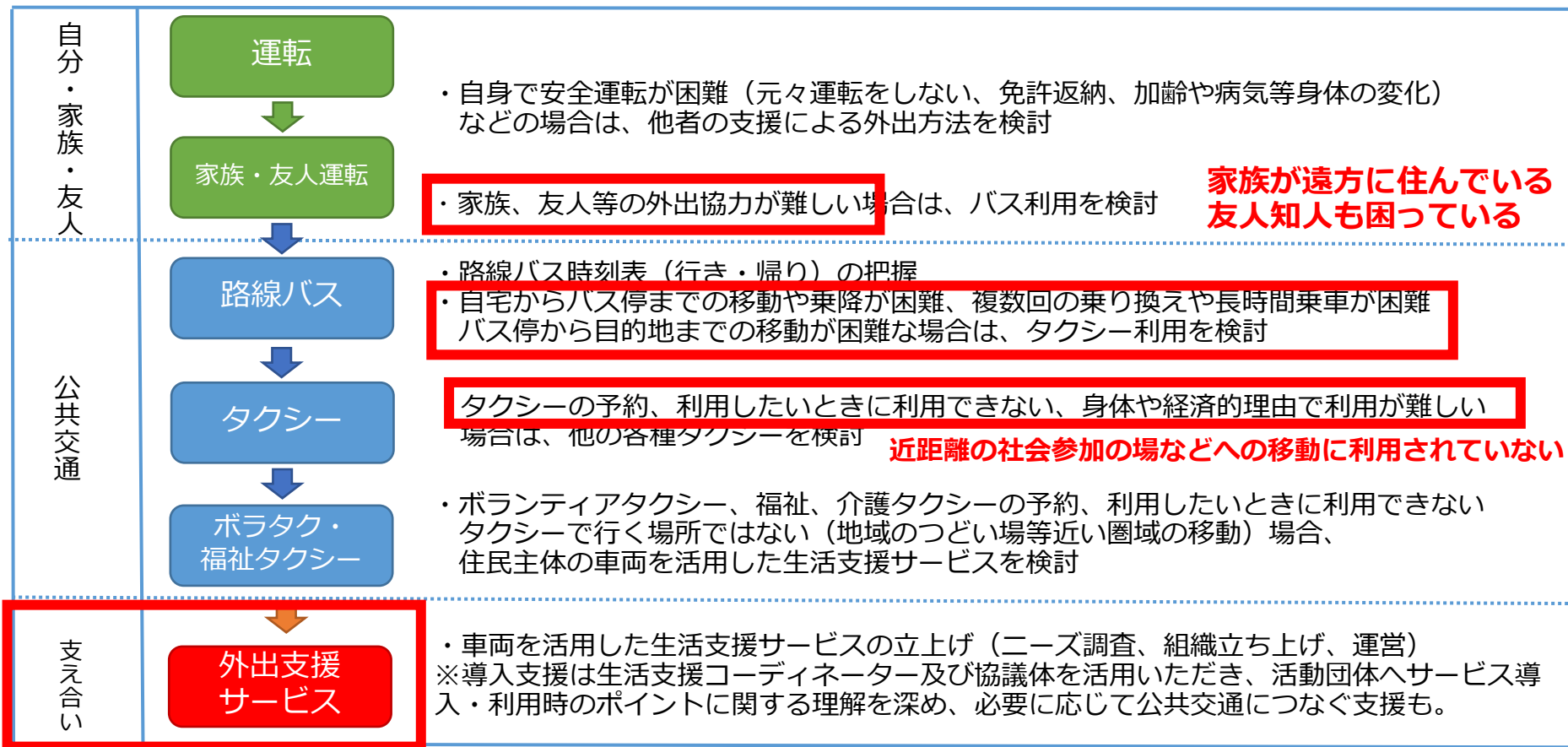
しかし、今後も運転免許の返納や一人暮らし高齢者の増加などにより移動に困難を抱える人は増加していきます。すべてを地域住民の互助や生活支援だけでそれを支えるのは困難です。ニーズの総量が増えていく以上、そのニーズに合わせたサービスを展開すれば、公共交通やタクシーも利用者は増えていくはずです。

（公共交通やタクシーの利用が減るとすれば、現代のニーズに合っていない）

地域のくらしの足となる移動の保障をするのは行政の責任であり、町もタクシーの活用には積極的です。利用者を取られるといった考えではなく、運転に不安を抱えながらマイカーを運転している人が免許を返納しても、安心して暮らし続けることができるための移動サービスを運輸局や公共交通事業者も一緒に考えていくべきではないでしょうか。

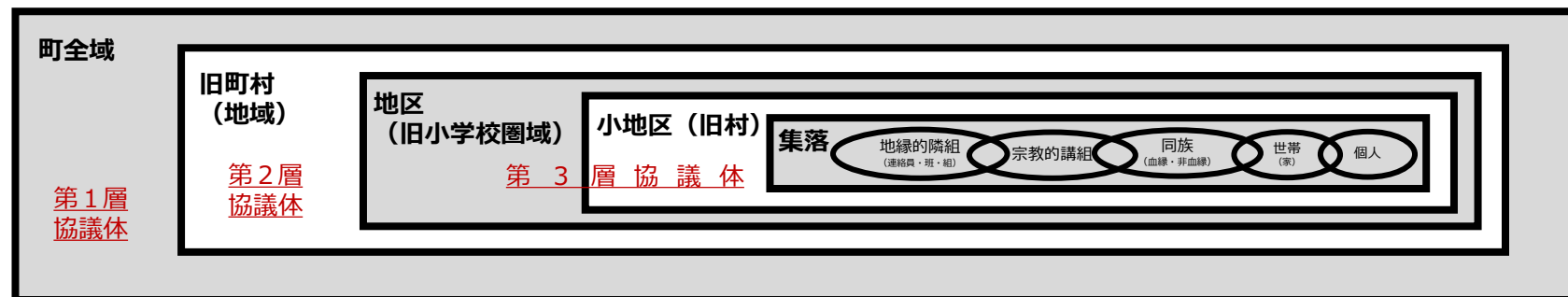
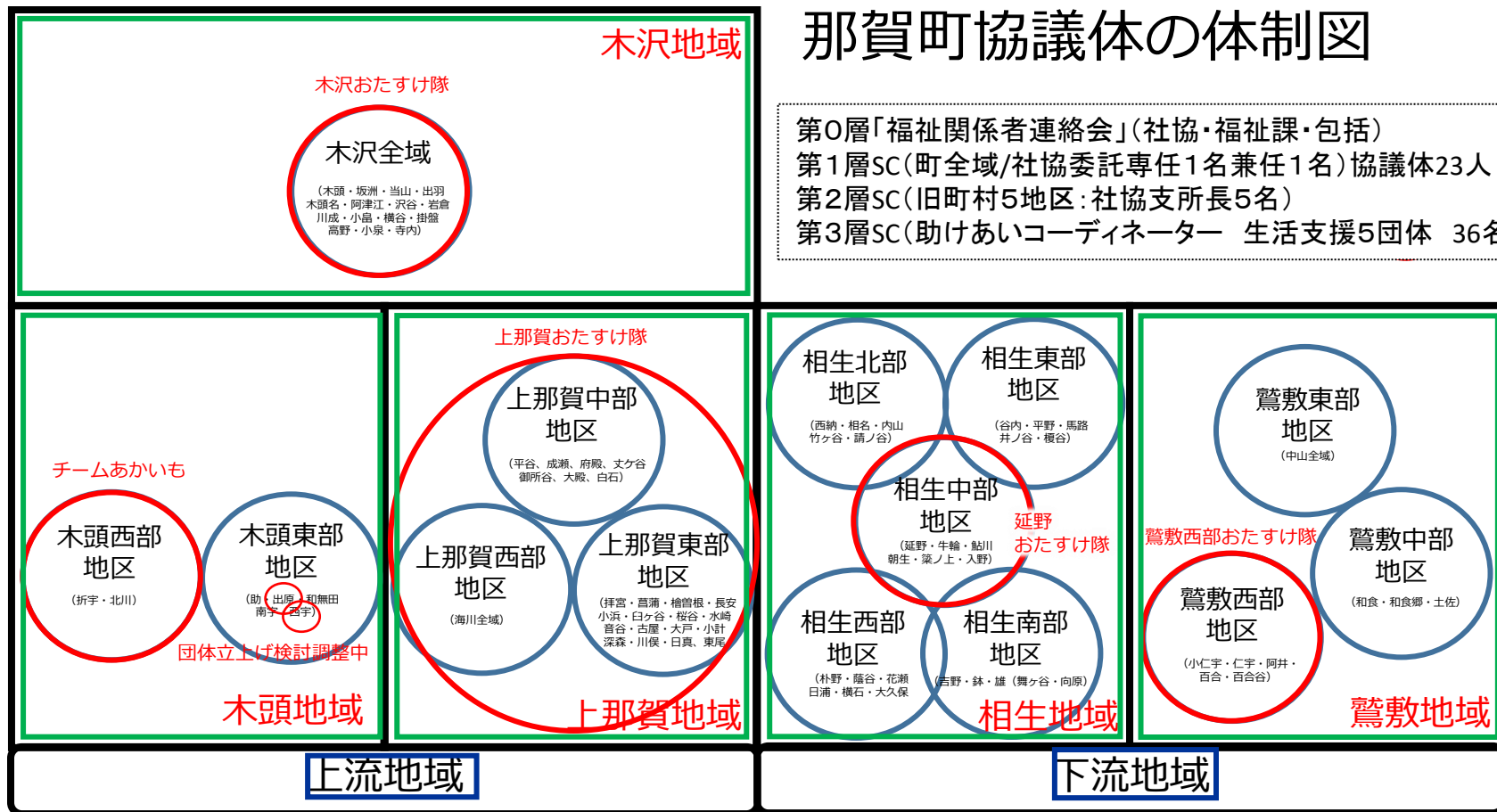
車両を活用した生活支援（日常生活上必要不可欠な外出）サービス優先順位の考え方

基本理念：「交通手段の確保ができない為に、生活（買物・通院等）に支障をきたす、高齢者の在宅生活の継続・自立支援の為に生活支援『外出』サービス」



那賀町協議体の体制図

- 第0層「福祉関係者連絡会」(社協・福祉課・包括)
- 第1層SC(町全域/社協委託専任1名兼任1名)協議体23人
- 第2層SC(旧町村5地区:社協支所長5名)
- 第3層SC(助けあいコーディネーター 生活支援5団体 36名)



那賀町内生活支援団体について

名称	鷲敷西部おたすけ隊	相生延野おたすけ隊	上那賀おたすけ隊	木沢おたすけ隊	チームあかいも
組織	鷲敷西部コミュニティ 推進協議会地域活動部	相生延野コミュニティ 推進協議会地域活動部	任意団体 上那賀有志住民	任意団体 木沢有志住民	任意団体 木頭折宇北川有志住民
地区	鷲敷西部	相生延野	上那賀全域	木沢全域	木頭折宇北川
団体設立	令和3年2月	令和3年2月	令和4年3月	令和元年11月	令和3年11月
活動開始	令和3年4月	令和3年4月	令和4年5月	令和2年1月	令和3年3月
運営委員（相談役）	13名	21名	11名	7名	5名
第3層SC	5名	9名	11名	4名	6名
代表	青木 紀男	棟近 太郎	熊原 廣幸	中矢 利男	福岡 由美
実働員数(生活支援)	約18名	約39名	約46名	約40名	約17名
対象者	1) 旧阿井小学校区（西部コミュニティ圏域）に居住するサポートが必要な人	1) 旧延野小学校区（延野コミュニティ圏域）に居住するサポートが必要な人	1) 上那賀地区全域に居住するサポートが必要な人	1) 木沢地区全域に居住するサポートが必要な人	1) 木頭折宇北川地区に居住するサポートが必要な人
支援内容	生活支援全般 （車両を活用した支援含む）	生活支援全般 （車両を活用した支援含む）	生活支援全般 （車両を活用した支援含む）	生活支援全般 （車両を活用した支援はボラタクとの整合性に応じて対応	生活支援全般 （車両を活用した支援含む）

その他活動	定期的なつどい 場、無償移送 (サポート結) との協働、他団 体へのつなぐ支 援等	定期的なつどい 場、農業手伝 い、空き家片づ け、無償のワク チン接種電子予 約、他団体への つなぐ支援等	定期的なつどい 場、他団体への つなぐ支援等	社協と連携した 配食事業、他団 体へのつなぐ支 援など	常設型のつどい 場、各種行事、 まごごろ弁当配 布、遠足や買い 物ツアー、他団 体へのつなぐ支 援など
利用料金	一律10分100円	一律10分100円	一律10分100円	15分100円 30分500円 60分未満1000円 60分以上は無償 (任意の謝礼に限る)	一律10分100円
想定される移送範囲 ※地域状況や利用者の実情によ り団体長が判断	コメリ驚敷店～ 上那賀病院の範 囲内	原則、旧延野小 学校区内に限 る。	基本、旧上那賀 町内に限る	基本、つどいの場な ど隣近所の助けあい の範囲内。その他の 行先はボラタクとの 整合性に応じて対 応。	原則、 木頭地区内に限 る
移送に携わる会員 ※原則、研修受講者が対応	国交大臣認定 講習受講 6 名	国交大臣認定 講習受講 9 名	国交大臣認定 講習受講 4 名	国交大臣認定 講習受講10名	国交大臣認定 講習受講 4 名 +団体独自 6 名
移送支援実績(概算) 6月1日～8月21日現在	延利用者 14名 延利用数 21回	延利用者 3名 延利用数 20回	延利用者 10名 延利用数 15回	延 15名 / 延 60回 ※ボラタク実12名 延110回	延利用者 10名 延利用数 30回
主な行先・目的	買い物・通院	買い物・通院・つどいの場	通院	おたすけ：つどいの場 ボラタク：通院・買い物	買い物・通院・つどいの場

『できること』をつないで、みんなで作る「安心感」 「“お互いさま”の言葉が飛び交う、地域共生社会の実現を目指して」

● 経緯・地域の課題

人口約7700人、高齢化率50%を超える那賀町では、主として高齢者を取り巻く生活環境には様々な課題が山積しています。その中で、平成29年より生活支援体制整備事業に着手、30年には住民協議体の発足。「いつまでも ふるさとで すこやかに」を合言葉に、古き良きお互い様精神や助けあい文化の復興と捉え、自分たちの地域は自分たちで良くしようという住民主体の地域づくり活動の輪が広がっています。生活支援の組織化や移動手段の確保、買い物支援は地域ぐるみで取り組んでおり、今期で5年目を迎える地域の地道な活動の一例です。

● 取組内容・効果



高齢者等の暮らしを支える「生活支援」

当たり前に行われてきた近所の助けあい。かえってお返しが高額になってしまったり、気兼ねしてお願いや相談がしづらい状況にある高齢者等が多い現実がありました。近所の助けあいが長く続いていけば良いと“時代に合わせたちょこっと有償のしくみ”を創出。住み慣れた地域で生活していく上で、お互いにちょっと手を差し伸べ合って、少しでも生きやすい地域にしよう！と、町内各地で連携しながら、地域ぐるみの生活支援が盛んに取り組まれています。

令和4年8月現在、住民協議体に参加する町内の生活支援団体は、5地区5団体、登録ボランティア総数は150名超。
※現在、立ち上げ準備中（1地区2団体）



家事支援一体型の送迎（全地区生活支援団体で実施）

各団体では、車両を使う生活支援も家事支援も一律の料金設定のしくみとして運用。道路運送法における許可又は登録を要しない運送の範囲内で実施しています。



国土省大臣認定福祉有償運送運転者講習（町全域）

那賀町の移送支援を実施している団体や移送支援を検討する5団体の会員、希望者25名を対象に移送支援の担い手を養成。また、今後、町内で移送団体の立ち上げや移送支援実施の際、運転講習を町内で随時実施できるよう、25名にはインストラクター運転者養成講習を合わせて実施。



社協と連携した見守り型配食（木沢地区 木沢おたすけ隊）

配食事業が無かった地域で一人暮らし高齢者を対象とした見守り型配食を開始した。社協が運営するデイサービスで作ったお弁当をおたすけ隊会員が配達し、体調確認やお話相手として支援しています。



コロナ禍における支援（相生地区 延野おたすけ隊）

電子機器やPC操作に慣れている若い世代が中心となり、ワクチン接種の電話やネット予約が困難で手助けが必要な高齢者の予約を無償で実施した。

● 今後の展望

那賀町最大の課題である買い物、移動困難者を公共交通だけに頼らず、官民一丸となって解決するために、住民による住民のための移動手段を活発に那賀町全域で進めていきたい。現在生活支援5団体の互助組織のしくみや実績を基に支援の輪を町全域に広げていきたい。
町内で移送支援を広く推進実施するにあたって、道路運送法に抵触する、いわゆる白タク行為を誘発しないためにも、令和4年度に施行される補助制度の活用を住民に推進する。また、生活支援団体の構築推進、安心安全な移送支援を町全域で推進するためにも、交通事故及び車両を活用した生活支援にかかる事故防止に関する知識を習得する必要があることを合わせて今後も、推進し町内全域で意識の醸成を図りたい。

つどいの場・配食・生活支援の一体的活動（木頭地区 チームあかいも）

人と人のつながりの場づくりや栄養のとれた食事の配達、在宅生活の支援等の取り組みを通じて、少しでも生きやすい地域づくりに取り組んでいます。



地域で高齢者見守り

2019.6.21 谷山川俣地区住民主体の買い物ツアー ⇒2021.10月現在町内5地区で実施中

月刊

2019年(令和元年)6月23日 日曜日

那賀町川俣地域の高齢者ら

運転手確保買い物ツアー

那賀町川俣地域(上那賀地区)の高齢者が、買い物に出掛ける手段を確保しようと、ボランティアの運転手に協力を依頼し、相生や驚敷地区への買い物ツアーを始めた。運輸局への登録が必要な「過疎地有償運送」とは異なる簡便な輸送法で、2カ月に1回のペースで行う予定。移動手段を得た高齢者は喜んでいる。

運輸局登録不要の方法採用

相生などへ2ヵ月に1回



ボランティアの運転手が運転する車から下りて、ホームセンターへ向かう高齢者
＝那賀町中山

運送法違反(白タク営業)分かった。そこで社協(業行為)には当たらぬバスを借り、協力を、登録も必要ないと申し出てくれた上那賀

地区の60代男性1人と70代男性2人に毎回交代で運転してもらえよう依頼した。5月下旬にあった1回目のツアーには12人が集まり、驚敷地区のホームセンターで農作業に必要な手袋や肥料などを選んだ後、鮮魚店やスーパーにも寄った。参加した尾谷良子さん89は「1人暮らしで子どもも頻繁に来れないので、とても助かる」と話した。

NPO法人全国移動ネット(東京)によると、運輸局への登録が不要な今回の輸送法を採用するのは県内では那賀町川俣地域が初めて。登録が必要な「過疎地有償運送」(住民による有償運送)は上勝町と美馬市木屋平、那賀町木沢地区で行われている。(大城咲)



2019.7月 谷山川俣地区移動販売（地域×商店×商工会×社協）



2020.2月 鳥取県へ 移動販売視察 (商工会×商店×社協)



町内移動販売（食品/日用品） 2022年9月現在状況

折坂商店

（上那賀・木沢・木頭）



新規5地区つなぐ支援

セブンイレブン

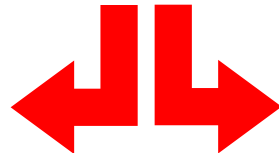
（鷲敷・相生・上那賀・木沢・木頭）



新規6地区つなぐ支援



協社



商工会

ガソリン代補助制度
R3年創設！

移動販売打診・連携
移動販売車貸出

新規7地区つなぐ支援

とくし丸

（鷲敷中山地区・鷲敷西部地区）



那賀町障がい者小規模共同作業所
& 地域おこし協力隊（相生平野地区）



那賀町旧鷺敷町(西部地区)活動紹介

1.生活支援 サポート結

2. 鷺敷西部コミュニティ推進協議会

地域活動部 生活支援団体「鷺敷西部おたすけ隊」



鷺敷西部地区出身

行政OB / 地域団体 3年目

生活支援団体「鷺敷西部おたすけ隊」代表 青木 紀男

鷺敷地区の概要

(令和4年5月末現在)

地区	男	女	計	65歳以上人口	高齢化率
鷺敷	1,282	1,367	2,649	1,089	41.11
(前年同月)	1,295	1,397	2,692	1,125	41.79
相生	1,074	1,170	2,244	1,109	49.42
(前年同月)	1,109	1,212	2,321	1,122	48.34
上那賀	559	660	1,219	797	65.38
(前年同月)	579	680	1,259	821	65.21
木沢	216	227	443	300	67.72
(前年同月)	227	241	468	316	67.52
木頭	487	532	1,019	605	59.37
(前年同月)	518	547	1,065	630	59.15
合計	3,618	3,956	7,574	3,900	51.49
(前年同月)	3,728	4,077	7,805	4,014	51.43

西部地区人口
979名

65歳以上人口
400名

高齢化率
40.85%

2019.1.27

「住民主体の移動支援を考える勉強会」

NPO法人全国移動サービスネットワーク主催

第一層協議体メンバーで南あわじ市視察研修
研修後は南あわじ観光で楽しみも忘れません。



2019.2.21

「住民主体の移動支援会議」 那賀町元気な地域づくりネットワーク会

NPO法人全国移動サービスネットワーク
副理事長もアドバイザーとして出席

2021.2.18

大阪太子町社協オンライン講演会

総合事業D型サービスについて



徳島新聞 2021年03月04日 木曜日 面名 地域1 第1版 25ページ

高齢者の移送支援学ぶ

介護保険活用 那賀で講演会



介護保険を活用した高齢者の移送支援サービスを学ぶ住民—那賀町阿井の阿井公民館

那賀町の住民有志や介護事業者らでつくる「町生活支援体制整備事業住民協議会」が、同町阿井の阿井公民館などで、介護保険を活用した高齢者の移送支援サービスを学ぶ講演会を開いた。

ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を通じて2月18日に開催。阿井公民館には12人が参加した。大阪府太子町社会福祉協議会の吉高賢司生活支援コーディネーターが、移送支援サービスの例を挙げ「道路運送法上の許可や登録が不要な移送支援の形態もあるので、まず運輸局へ相談を」と呼び掛けた。

高齢者支援を目的としたグループ「結」を昨年発足させた同町阿井の青木紀男さん(76)は「町や公共交通と連携し、高齢者を地域で支えていきたい」と話した。

(棚野将式)

(C)徳島新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

2021.2.28

四国地区移動サービスネットワーク

オンライン交流学習会



このプログラムは「マツダ・移動支援団体応援プログラム」の助成を受けて実施します

第11回 四国地区移動サービスネットワーク 交流学習会

四国地区での交流会は11回目を迎え、今回は新型コロナウイルスの感染予防のためリモートで開催することになりました。

高齢者や障がい者等が地域で安心して生活を送るため、買物や通院など移動・外出のための交通手段や不足している担い手の確保は緊急の課題となっております。

そうした状況に対し、住民が主体となって地域に根ざした移動・外出支援の仕組みをどう構築するのか模索している方がたの情報共有の機会としてこの交流学習会を企画いたしました。

移動課題を解決したいと思っている方の参加をお待ちしています。

☆ 令和3年2月28日(日)
13:00~16:00

☆ オンラインZOOMにて開催
パスワードは別途お知らせします。

☆ 申込締切り:2月24日

☆ 申込方法:下記の情報をメールにてお申込みください。

- ① お名前
- ② 団体名(個人の場合は不要)
- ③ ご住所
- ④ メールアドレス
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 所属や役職

プログラム

13:00~13:05(5分)

☆開会の挨拶 宮井 則男(NPO法人 地域教育福祉会・花さき山 理事長)

13:05~14:15(75分) 各15分

☆四国各県の活動報告 NPO法人 全国移動サービスネットワーク

香川県(五井 則男)・愛媛県(武田 行雄)

徳島県(亀井 伸幸)・高知県(永井 美保)・高知県四万十町(中平 由起子)

14:15~14:25(10分) 休憩

14:25~15:10(45分)

☆聞きたい! 知りたい! 移動支援の悩みごと!

参加者の皆さん

15:10~15:50(40分)

☆立ち上げ? 運営? 何でもお答えします!

横山 和廣氏(NPO法人 全国移動サービスネットワーク 副理事長)

伊藤みどり氏(NPO法人 全国移動サービスネットワーク 事務局長)

15:50~16:00(10分)

☆次回の企画は何か? 進行:亀井 伸幸(徳島県)



主催: NPO法人 地域教育福祉会・花さき山

共催: 四国地区移動サービスネットワーク / NPO法人 全国移動サービスネットワーク

お申し込み・お問い合わせ先: NPO法人 地域サポートの会 さわやか高知(担当: 永井)

TEL: 088-821-0560・FAX: 088-821-0780・E-mail: sawayataochi@shirt.ocn.ne.jp

★申込にて取得した個人情報は、適切に管理し、本交流学習会以外の用途では使用いたしません。

2021年 12月9～10日

国交省大臣認定福祉有償運送運転者講習（町全域）

那賀町の移送支援を実施している団体や移送支援を検討する5団体の会員、希望者25名を対象に移送支援の担い手を養成。また、今後、町内で移送団体の立ち上げや移送支援実施の際、運転講習を町内で随時実施できるよう、25名にはインストラクター運転者養成講習を合わせて実施。

那賀町初

移動送迎運転協力者(大臣認定)研修及び ボランティア運転研修インストラクター養成講座

那賀町初「移動送迎運転協力者(大臣認定)研修及びボランティア運転研修インストラクター養成講座」を開催することとなりました。

2日間の講習で知識や心構え、実践等を学び、車両を活用した生活支援にお役立てください。

また、研修内ではインストラクターの資格取得研修を行います。インストラクター資格取得後は地域課題の一つ「不足している担い手(ボランティア)の養成研修会」など開催することができ、民主体の移動(外出)支援の輪が町内各地で広がることに期待できます。

町内全域で移動の自由を確保するため是非ご参加ください。

今度な～運転研修をするんやけんど～
なんせ那賀町で初めてやけん。
やっぱりなんでも一冊目がええんじょ！



日 時 12月9日(木) 9:20～17:00 (9:00～受付)
12月10日(金) 10:00～17:15 (9:45～受付) 2日間受講必須

場 所 那賀町林業ビジネスセンター大会議室

主 催 生活支援グループ リポート結

共 催 関西STS連合会 NPO法人 移動送迎支援活動情報センター
NPO法人 全国移動サービスネットワーク

後 援 那賀町元気なまちづくりネットワーク連合会

対 象 者 町内生活支援5団体の会員 移送支援リベシに関心があり、地域で活動及び
ボランティア養成研修を開催したいと意欲のある人

受 講 料 2,000円(テキスト代1,000円含む)

申込方法 FAX・電話での申し込み 24名

期 切 り 12月1日(水)17時必着

注意事項 運転免許正持参・運転がしやすい服装・靴着用

申込受付 管轄西部生活支援団体サポート結 TEL 090-1323-3430 (青木)
那賀町元気なまちづくりネットワーク連合会事務局
TEL 0884-64-0026 FAX 0884-64-0065 (亀井)

*申込受付者にはカリキュラム等Fax・E-mailでご送付いたします。
*昼食は各自用意をお願いします。※お弁当(もみじ川温泉)のお申し込みは12月1日(水)迄

この事業は「さわやか福祉財団地域助け合い基金」の助成をうけて実施します。



生活支援サポート結から 鷲敷西部おたすけ隊へ

有志住民の
声でつくられた
コミュニティ圏域の
生活支援組織
別団体では
移送支援にも
取り組んでいます！



団体設立に向けた生活支援モデル実施
(庭の草刈り草引き剪定おたすけ)



R2. 8月こどもおたすけ隊派遣



R2. 8月生活支援サポート結 発足式



病院や買い物送迎

ふすま貼り



お助け隊チラシ 令和3年4月発足



令和2年10月
鷲敷西部おたすけ隊立ち上げ検討会

14名

家事支援一体型のしくみ構築&組織での移送支援活動が評価、支持 那賀町議会にて「2021年議会表彰」 3団体受賞



取り組みの上で大切にしていること 福祉/那賀町社会福祉協議会とは

ふ… ふだんの（ふつうの）
く… ぐらしの
し… しあわせ



那賀町…那賀町に住む
社会 …みんなの
福祉 …普段の（普通の）暮らしの幸せを
協議会…集まって相談するまとまり（組織）

「いつまでも ふるさとで すこやかに」

暮らすことがしあわせ！を応援するのがSC/協議体ミッション!!

質問・疑問・ご意見

那賀町社会福祉協議会

Tel:0884-64-0026

nakasyakyo.kamei@gmail.com

亀井まで
ご連絡お願いします

